

今年度の一般建築部門への応募は昨年より4件減り38件であった。

まず、選考の経緯について記しておく。書類審査による一次選考では、あらかじめ応募作品の資格を確認し、各作品に対して各審査委員が評価点をつけ、その合計点の上位の作品から検討していき、合議の上、現地審査の対象となる建築作品を14件に絞り込んだ。現地審査は8月末に4日間かけておこなわれ、直前になって残念ながら民間の建築主との調整が不成立となった1件を除く13件の建築作品が対象となった。

現地審査では印象や評価について活発に意見交換された上、視察後の第2次審査会で意見交換の後、最終的な選考は投票により、各人の評価点数の合計点を参考にして授賞作を選んだ。この結果、最優秀賞が1点と、優秀賞9点を選出した。また、今年はアピール賞の該当作は無かった。

全体的には、今年も学校建築がやや多く見られたが、こだわりやプロセスに特色のあるものが最終的には賞を得た。民間の施設でも工夫に満ちた力作が多く、公的施設では緑との関わりを重視しそれを効果的に空間構成に活用するものが印象にのこった。他にも、大手の技術力には進歩を感じることができ、複雑な要求や要素をまとめあげるデザインが実現されるようになったことには、今後も大いに期待がもてる。

最優秀賞となった「**大和市文化創造拠点 シリウス**」は、公共の文化施設として、とりわけ図書館の新しいスタイルを提示した建築である。複合施設にありがちな機能の寄せ集めではなく、図書館機能を基調に一体的な空間が水平垂直に連なる。何より万遍なく多くの市民が利用している光景は、街の中の新しい居場所を市民に提供したことを顕著に示しており、子どものためのスペースの充実や幅広い年齢層から神社までをとりこんだ包括性にも感心させられた。

つづいて優秀賞の「**栄光学園 創立70周年事業 新校舎**」は、高さを2層に押しえ木造ハイブリッド架構の工夫にあふれる試みに、優れた施工技術が応え、水平的に広がる平面、広い中庭や教室からの内外の連続といった、のびやかなランドスケープと調和した空間が実現しており、おおらかな教育を実現しているものと想像できる。

「**ISUZU PLAZA・PLAZAannex**」は、自動車工場一帯の継続的な再整備計画の一環として、実物大の自動車展览展示する特殊な施設だが、企業コンセプトの徹底した議論から生まれた統一感のあるきめ細かいデザイン、そして構造設備建築の融合をBIM活用でこなし、技術的にも質の高い総合的な建築に結実させている。

「**ニフコ YRP 風のプロムナード**」は、新築された実験棟のエントランス部分で、既存施設の通路・結節部分ともなるシンボリックな建築となっている。自然の風や光の時間的変化を感じさせる装置として、ヤジロベエ構造の採用や膨張コンクリートなど技術的な冒険もあり小規模ながらも濃密なデザインで見応えある空間を創出している。

「**特別養護老人ホーム 笹の風**」は、基本的な居住空間としての質を押しえた上で、緑化や眺望など立地の特性を活かした快適性を付加した空間を確保し、高低差や地域との接点などを熟慮した配置計画などによって、一帯の住宅地開発による新しい街の中で、ひとつのシンボルとなる介護施設を高台に出現させている。

「**児童発達支援センター 青い鳥**」は、やや無表情な外観とは打って変わって中庭の豊かな樹木や緑は、工場や住宅、畑がランダムに連なる周辺環境とのひとつの調和のあり方として理解できる。中庭とデッキによりのびやかな空間や遊びを誘う空間構成は魅力的であり、施設の有存在意義と共に地域にとって貴重な空間となっている。

「**鎌倉学園中学校・高等学校リニューアル**」は、風致地区における厳しい制限下でのリニューアルの実践として、最大限でできることを工夫した苦心作であり、ひとつひとつを考え抜いたデザインの緻密さと断熱や耐震性

など建築物の基本性能の向上を確保した点で優れた建築となっている。

「障害者施設「恵和青年寮」及び「恵和館」」は、障害者施設のあり方が小舎制へと変化している流れの中で、限られた敷地の中で苦勞して建て替えを実現させたプロセスがとりわけ評価された。高低差のある不利な条件を新たな動線をつくり克服し、また低予算で成し遂げたことも特筆に値する。

「川崎技術開発センター」は、先端技術の施設で、きわめて特殊な技術として放射線遮蔽コンクリートの箱を開発し、一方で外気から遮断された実験執務空間の息苦しさから解放されるよう従業員のリフレッシュのための空間を柔らかく創出したことの両面で創意に富むデザインである。

「専修大学 新生田 2・3 号館」は、色彩やディテールまで丁寧にデザインされたつくりとなっており、大学のゲートとしてのシンボル性とアクティブラーニングの授業形態に合わせた計画性とは組み合わせられた建築で、周囲の生田の緑地に合わせた植栽空間も熟考され、充実した緑の外構を提供している。